

## パナマ・スエズ両運河とも通航料支払実績は増加 運河通航船実態調査結果まとまる

日本船主協会は、毎年会員各社の運航船舶（外国用船を含む）について、パナマ・スエズ両運河に係る通航実態・通航料支払実績の調査を実施しており、今般その結果がまとまった。

調査対象期間は、パナマ運河については2010年4月1日より2011年3月31日、スエズ運河については2010年1月1日より同年12月31日までとした（統計の連続性上\*）。

なお、通航料については用船契約によって用船者等が支払う場合があるため、通航料の支払い実績が不明のものがあつた。このため、表中の通航料支払い実績は、調査回答船社が確認できる範囲での実績を集計したものである。

\*パナマ運河庁会計年度 10月1日～9月30日・スエズ運河庁会計年度 7月1日～6月30日

\*\*\*\*\*

### [パナマ運河：運河通航料改定(値上げ)により通航料は全体的に上昇]

パナマ運河の利用状況は、通航船社数が前年度比較で横ばいの17社、利用隻数は6.0%増加（2010年：940隻/2009年：887隻）した。G/Tベースでは0.9%減少（2010年40,263千G/T / 2009年：40,632千G/T）し、D/Wベースでは4.0%の減少（2010年：36,866千D/W / 2009年：38,385千D/W）であつた。

また、コンテナ船以外の料率の基本となる通航船舶トン数(PC/UMS：Panama Canal/ Universal Measurement System※1)ベースでは27,154千トンとなり、コンテナ船のベースとなるTEUは1,019千TEUとなつた。この結果、全体の通航料では6.1%の増加（2010年：207,716千米ドル/2009年：195,781千米ドル）となつた。（表1参照）

船種別に見ると、タンカーが前年度比較で延べ2隻(3.8%)減少し50隻、PC/UMSベースで14.7%減少（2010年：775千トン/2009年：909千トン）、通航料は14.3%増加（2010年3,894千米ドル/2009年：3,406千米ドル）した。コンテナ船は延べ55隻(20.6%)減少し212隻、通航料も12.4%減少（2010年：83,247千米ドル/2009年：95,014千米ドル）した。このほか、自動車専用船は前年度比較で延べ27隻増加(8.4%)し347隻ながらも、PC/UMSベースでは12.9%減少（2010年：18,942千トン/2009年：21,742千トン）、通航料は21.4%の増加（2010年：85,321千米ドル/2009年：70,261千米ドル）となつた。（表2参照）

### [スエズ運河：隻数・運河トン数微増により通航料も微増]

スエズ運河の利用状況は、通航船社数が前年度比較で2社減の11社であつたが、利用隻数は1.9%増加（2010年：1,272隻/2009年：1,248隻）した。G/Tベースでは2.2%増加（2010年：76,517

千G/T /2009年：74,905千G/T)した一方、D/Wベースでは5.1%の減少(2010年：61,179千D/W /2009年：64,440)であった。

また、料率の基本となるスエズ運河トン数(SCNT：SUEZ Canal Net Tonnage※2)ベースでは3.0%増(2010年：73,453千トン/2009年：71,344千トン)となり、全体の支払通航料も4.3%増(2010年：386,848千米ドル/2009年：370,759千米ドル)となった。(表3参照)

船種別に見ると、タンカーが前年度比較で延べ52隻(25.1%)増加し259隻、SCNTベースで10.0%増加(2010年：4,241千トン/2009年：3,856千トン)、通航料も23.2%増加(2010年：33,663千米ドル/2009年：27,321千米ドル)した。コンテナ船は延べ49隻(8.5%)減少し528隻、SCNTベースでは1.5%増加(2010年：39,422千トン/2009年：38,853千トン)、通航料も0.1%増加(2010年231,122千米ドル/2009年：230,917千米ドル)した。また、自動車専用船は前年度比較で延べ42隻(12.6%)増の376隻、SCNTベースで14.9%増(2010年：20,800千トン/2009年：18,105千トン)、通航料も12.0%増(2010年：119,519千米ドル/2009年：106,677千米ドル)となった。

(表4参照)

\*\*\*\*\*

※1 PC/UMS(The Panama Canal/Universal Measurement System) :

パナマ運河庁が採用している船舶容積の測定方法。

※2 SCNT(SUEZ Canal Net Tonnage) :

純トン数規則をもとに、スエズ運河当局独自の控除基準を加えて算出する。二重底船の船底にバンカー油を積載した場合その部分の控除を認めない等、パナマ運河や各国の規則とも異なる独特のもの。

以上

表1 パナマ運河通航料支払実績推移

会計年度	社数	延隻数	延千G/T	延千D/W	延千PC/UMS	通航料			
						千USドル	対前年比	億円(参考)	対前年比
2000	15	989	32,887	33,220	30,184	83,376	△12.8	92	△20.0
2001	15	951	33,151	28,597	30,797	86,250	3.4	108	17.4
2002	16	904	34,191	27,285	35,680	100,293	16.3	122	13.0
2003	14	835	32,525	27,883	30,810	102,157	1.9	122	0.0
2004	13	941	38,710	31,875	39,908	115,424	13	124	1.6
2005	17	1,011	42,158	35,998	40,083	136,981	18.7	155	25.0
2006	18	1,284	55,484	42,608	51,111	178,590	30.4	209	34.8
2007	18	1,216	52,405	43,064	34,813	204,925	14.7	227	8.6
2008	19	1,129	48,952	45,087	28,528	224,246	9.4	225	△0.9
2009	17	887	40,632	38,385	29,234	195,781	△12.7	181	△19.6
2010	17	940	40,263	36,866	27,154	207,716	6.1	177	△2.2

注 1)2010年の通航料の円換算率は、2010年4月～2011年3月の平均レート(銀行間直物相場)1ドル=85.09円を採った。

注 2)2005年5月より、コンテナ船に対する通航料は、TEU当たりの料金とする課徴方式に変更となったため、2007年度調査から延PC/UMSにはコンテナ船の分を含まないこととした。

表2 パナマ運河通航船実態調査(2010.4.1~2011.3.31)

(通航料=千 USドル)

船種	社数	延隻数	延千G/T	延千D/W	延千PC/UMS	延千TEU	通航料
タンカー	5	50	946	1,546	775		3,894
鉱油兼用船	0	0	0	0	0		0
バルクキャリア	9	322	8,949	15,789	7,323		34,670
自動車専用船	4	347	19,067	6,226	18,942		85,321
コンテナ船	3	212	11,165	13,187		1,019	83,247
在来定期船	1	6	59	70	50		203
その他船舶	2	3	7	48	64		381
合計	17	940	40,263	36,866	27,154	-	207,716

注) 社数合計の17は、調査期間中にパナマ運河を通航した会員船社数であり、船種別の社数の合計とは一致しない。

表3 スエズ運河通航料支払実績推移

会計年度	社数	延隻数	延千G/T	延千D/W	延千SCNT	通航料			
						千USドル	対前年比	億円(参考)	対前年比
2000	12	1,019	43,992	41,279	40,680	180,582	△7.7	195	△12.6
2001	11	962	40,592	39,342	38,521	168,844	△6.5	205	5.1
2002	11	842	43,126	38,010	42,898	189,060	12.0	237	15.6
2003	13	1,034	51,053	48,155	52,018	243,051	28.6	282	19.0
2004	13	1,203	61,481	55,102	60,543	307,470	26.5	333	18.0
2005	14	1,209	61,014	56,543	58,233	303,102	△1.4	334	0.3
2006	16	1,322	61,426	52,359	57,929	330,653	9.1	385	15.3
2007	21	1,595	85,595	77,905	82,960	449,637	0.36	530	37.7
2008	22	1,626	91,830	81,048	91,153	514,002	14.3	532	0.4
2009	13	1,248	74,905	64,440	71,344	370,759	△27.9	342	△35.7
2010	11	1,272	76,517	61,179	73,453	386,848	4.3	338	△1.2

注) 2010年の通航料の円換算率は、2010年1月~12月の平均レート(銀行間直物相場)1ドル=87.27円を採った。

表4 スエズ運河通航船実態調査(2010.1.1~2010.12.31)

(通航料=千 USドル)

船種	社数	延隻数	延千G/T	延千D/W	延千SCNT	通航料
タンカー	7	259	4,485	7,654	4,241	33,663
鉱油兼用船	0	0	0	0	0	0
バルクキャリア	2	4	220	429	212	754
自動車専用船	4	376	20,937	7,011	20,800	119,519
コンテナ船	3	528	42,288	39,779	39,422	231,122
在来定期船	0	0	0	0	0	0
その他船舶	3	105	8,587	6,306	8,778	1,790
合計	11	1,272	76,517	61,179	73,453	386,848

注) 社数合計の11は、調査期間中にスエズ運河を通航した会員船社数の合計であり、船種別の社数の合計とは一致しない。